

月刊

通巻

596

2022年5月

300

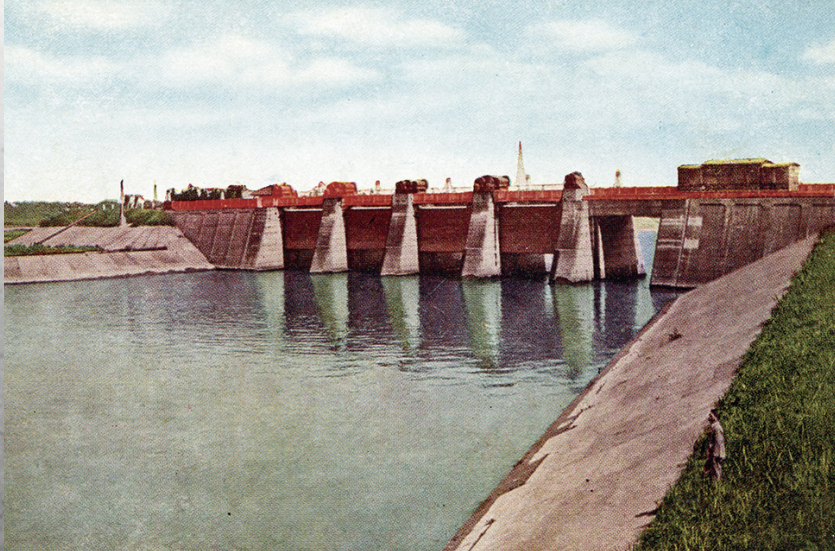
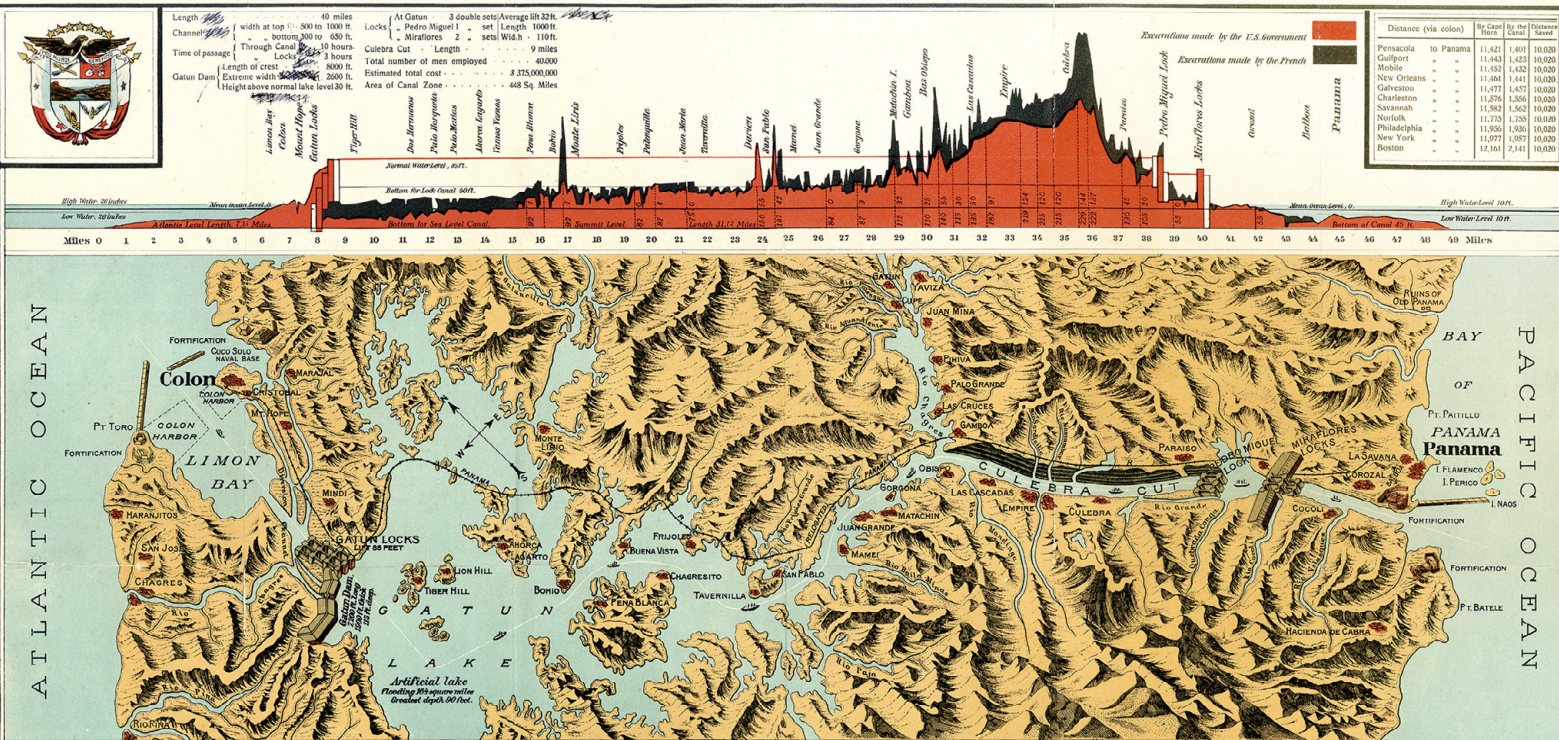


地図と学ぶ

地図中心

特集 青山士 パナマ・荒川・信濃川

BIRD'S EYE VIEW OF PANAMA CANAL





おかげさまで 50 年

日本地図センターは 2022 年 2 月に

1972 年 2 月の設立から 50 年を迎えました

地図中心 595 号 目次【特集 青山士 パナマ・荒川・信濃川】

青山士に解説してもらいたい事々	宮村 忠	3
ばなま運河の話	青山 士	4
明治 43 (1910) 年の大水害	田畑 和寛	10
荒川放水路と青山士	早川 潤	12
荒川放水路と地元 - 泳げる荒川への夢 -	三井 元子	16
荒川放水路のその後と現在	早川 潤	18
鬼怒川の青山士	石田 和也	20
大河津分水に刻まれたもの	樋口 勲	22
信濃川・大河津分水 通水後の 100 年と次の 100 年に向けた取組	今井 誠	26

【連載】

《地図づくり最前線 004》コースタイムを自動計算できる登山計画支援サービス「ヤマタイム」	片岡 義明	30
《日本列島 1/20 万 鶴の目鷹の目 14》電子地形図 20 万「標津」	小泉 武栄	32
《脳内散歩地図 132》信長公記地図 その 11	江川 達也	34
《日本百名山が見える鉄道 見えた鉄道 02》南アルプス悪沢岳・赤石岳を東西から	清水 長正	38
《歴史舞台地図追跡 74》江戸・東京をめぐる虚像と実像（その肆）	谷口 榮	40
《地図を片手に大地を駆ける 68》武蔵野の峠を追って	村越 真	42
《ベクター地歴地図孤軍奮闘記 44》人間万事塞翁が馬か…2	小島 豊美	44
《地図心中 復活版 18》絵解き-15 ご近所散歩	高橋 美江	46
新刊地形図案内 / 48	日本地図センター便り・今月新刊の見どころ！ / 49	
編集後記・次号予告 / 50	地図書窓 / 52	

【表紙】

上段：パナマ運河鳥瞰図（1904 年開通ごろ、個人蔵）

中段：信濃川補修工事竣工記念碑に、青山士が「萬象ニ天意ヲ覚ル者ハ幸ナリ」「人類ノ為メ國ノ為メ」と刻みました。1931（昭和 6）年建立。（信濃川河川事務所）

下段：左：青山士（荒川下流河川事務所）、中：荒川放水路開通時の岩淵水門の絵葉書（個人蔵）、右：パナマ時代の青山士（国会図書館）

月刊 地図中心

◆「地図中心」は毎月 10 日発行です◆

1 冊 880 円（税込）

地図倶楽部

◆紙版と電子版のご購読会員

年間購読 1 年間 12 冊

プレミアム会員

6,600 円（税・送料込）

プレミアム会員（シニア）満 65 歳以上

5,500 円（税・送料込）

◆電子版のみのご購読会員（紙版は送付されません）

地図倶楽部会員	会費（税込）	入会資格
一般会員	5500 円	なし
一般会員（シニア）	4400 円	満 65 歳以上
学生会員	2200 円	学生または 18 歳未満の方

地図倶楽部事務局

map-club@jmc.or.jp 03-3485-5417

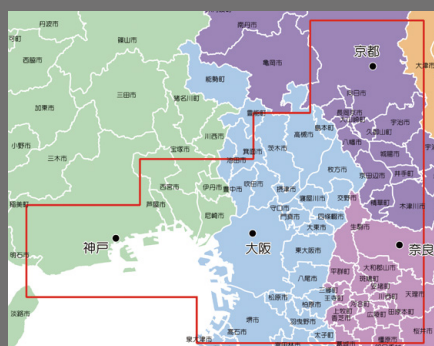
関西時層地図

KANSAI JISOU MAPS



「関西時層地図」は、神戸・大阪・京都・奈良市域の明治中期、後期、昭和前期、中期、後期、阪神・淡路大震災直後（神戸市周辺のみ）、平成中期の 7 種類の地図のほか、現代の地形図、航空写真、航空写真+地図に各時代の航空写真などを加えた計 21 種類を収録した iPhone 向けアプリです。本アプリを使えば、下記に示した様々な時代の姿を眺めることができます。また、これらの古地図は GPS 情報と対応していますので、現代との比較も簡単にできます。なお、本アプリで古地図、地理院地図、Apple マップ等を表示するためには、インターネット接続が必要となります。めまぐるしく変化を遂げていった各地の姿を、今こそじっくり見つめ直してみませんか？このアプリを持って歩けば、いつでも自由に時間旅行を楽しむことができます。

--- 収録範囲 ---



--- 製品情報 ---

◆発売日

2022 年 2 月 1 日

◆対応 OS

iOS 15 以降

◆価格（定期購入）

1 週間 100 円（税込）

1 カ月間 200 円（税込）

1 年間 800 円（税込）

◆お問い合わせ

時層地図に関するお問い合わせは、メールをお願いします。

次の項目をお知らせください。

mailto:appli@jmc.or.jp

・お名前

・メールアドレス

・件名・アプリ名

・本文

関西時層地図

検索



一般財団法人 日本地図センター

<https://www.jmc.or.jp/>

青山士に解説してもらいたい事々

みやむら ただし
宮村 忠

青山さんにぜひ話してもらいたことがある。と言って、かなわぬことである。そこで多様な「青山論」に期待したい。「多様な」としたのは、青山論は多いが、内村鑑三内弟子の話題が多くて、青山士あきらの荒川論、放水路論、あるいは河川技術論についての記述は乏しい。多様な青山論を期待したい。ここでは、2件にしばって、その取っ掛けについて記す。

(1) 明治年間に着手された放水路は、淀川・信濃川・荒川・北上川の4河川が挙げられる。放水路の長さは、16km・13.4km・22km・12kmで、荒川が最長となる。その後の放水路は、この4河川放水路を超えるものはない。したがって、荒川放水路が最長ということとなる。

ところで、東北日本の放水路は、新規に河道を開削して洪水を流す仕組になっている。そのためには、新規の放水路が、本川より勾配がきつくなっているか、放水路口に流れを抑制する操置が設けられていなければならない。大河津分水は、前者の例であるが、全流量が放水路を経て海に流出してしまうと、本川から取水していた人や、船を利用していた人などには不都合となる。そのため、放水路に全量流出してしまうのを抑制する装置(自在堰)を設けてあった。その自在堰が壊れてしまったので放水路に流水が集中してしまった。そこで、放水路完成後に急遽補修工事を実施した例である。

勾配をきつくするためには、放水路の長さが本川(旧川)より短くなてなければならない。荒川放水路は、例外である。本川(隅田川)が、放水路よりわずかながら短い。放水路の常識から外れている。放水路のルートに、重要な意義があるに違いない。ひょっとして首都東京が水没した利根川の明治43年大水害と東

京の主要部分が免れた昭和22年水害との比較に、ヒントがあるのかもしれない。

(2) 淀川の放水路(新淀川)が、明治30年~43年に開鑿かいさくされて後、信濃川の大河津分水土工事が明治40年~大正11年に実施された。さらに荒川がひきついだ放水路工事(明治44年~昭和5年)は、我が国の大規模河川構造物の嚆矢となった。

この大規模構造物群の中で、新しい技術の発展があった。まず、最新式の施工機械の導入である。具体的には、浚渫船と掘削機である。先例がないので、外国からの取り寄せである。次に設計・施工の面がある。大型構造物の使用部材が、淀川~荒川の工事期間中にレンガ・石材から鉄筋コンクリートが重要な材料となっていった。さらに、大型構造物の基礎は、ケーソン・鉄筋コンクリート・米松杭で造られた。とくにケーソンは、横浜築港第2期工事で初めて使われた後、これらの放水路工事で大々的に使用された。基礎の選択は、放水路工事では、もっとも重要な検討課題であったので、淀川~荒川では沖野忠雄と原田貞助が主導的役割を負った。

大河津分水と荒川放水路工事には青山士と宮本武之輔たけのすけが携わったが、宮本は沖野・原田から新技術の実践にとりわけ信を得ていたようだ。

青山・宮本の共通の師が、東京大学教授の廣井勇である。しかも、廣井は内村鑑三と札幌農学校の二期生、同期で、同じ日に基督教の洗礼を受けた仲である。青山は一高生の時、内村の聖書研究会に参加して、無教会主義の基督教を主唱する内村の門下生となった。東大に進学した青山は、土木工学科で廣井の教え子となった。宮本も青山の12年後輩として、廣井の教え子となった。



廣井勇と青山士・宮本武之助、大河津分水洗堰上にて(昭和3年7月)。この年、10月1日、廣井勇逝去(67歳)。

廣井は、教え子の面倒見に定評があり、青山・宮本もその恩を蒙った。

廣井は、「伝道を断念して工学に入る」と告白して以来、「基督教については沈黙の人となられました」と内村は語っている(『廣井勇伝』、記念事業会、昭和5年)。2人は、強い心の結びつきのうえに、別々の道を歩んだ。

ついでながら、晩年の青山士は、富山県嘱託となり、富山県総合開発審議会・水政委員長となった。新潟土木出張所長時代から度々富山を訪れ、立山砂防、神通川改修、都市計画法による富岩運河などの構想・計画に参与し、頻繁に現場を歩いて、事前調査の重要性を説いた。



富山県総合開発審議会第1回記念写真
前列右から3番目、青山士

宮村 忠



1939年6月22日、東京・深川生まれ。関東学院大学名誉教授、宮村河川塾主宰。関東学院は、青山士・南原繁等とともに内村鑑三の白雨会メンバーであった坂田裕が設立。

明治～大正～昭和戦前期ごろは、たくさんのお絵葉書が発行されています。当時は個人のカメラなど滅多にない時代ですから、絵葉書は同じ光景を共有するために便利なツール。自分が目にした光景の写真にコメントを付けて送る絵葉書。これは、現在に置き換えればSNSに相当するものと考えてよいのではないでしょう。

「荒川五色桜」の絵葉書は、写真に彩色を加えたもの。あなたも、写真をスマホのアプリで加工して「いいね!」をもらっているのでは？

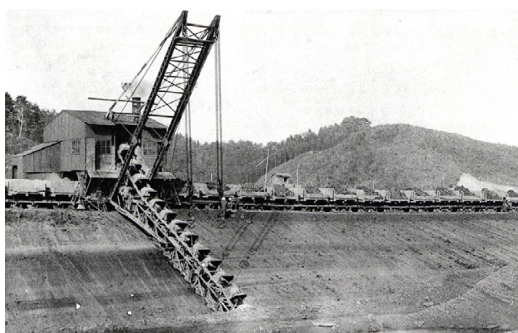
(編集長・小林政能)



明治43年8月 吉原土手より千住方面の浸水



明治43年8月大水害の実況 亀戸天神境内



新潟県大河津分水工事 エキスカベーター下方斜面の削り取り



7月24日陥没せる自在堰第9号第8号第7号ピーアー



新荒川通水記念 小名木川閘門



荒川五色桜

次号予告 2022年6月 通巻597号

毎月10日発行

地図と学ぶ月刊

地図中心 特集 福井県の博物館は多士済々

福井県は、人口・757,039人(43位)、面積・4,190.58km²(34位)。日本海に面し、石川県・岐阜県・滋賀県・京都府に接しています。福井県で有名なものは…カニ…永平寺…東尋坊…恐竜…。

実は福井県のコンテンツは、実に幅広く奥深いのです。恐竜⇒年縞⇒縄文⇒継体天皇⇒鯖街道⇒越前和紙⇒一乗谷⇒北前船の博物館を時間軸に沿って追い、福井県の魅力を地図にプロットします！



「福井市」鳥瞰図表紙(部分)、吉田初三郎

バックナンバーのご案内

地図中心

検索

「地図倶楽部」へのご入会をお待ちしています! 03-3485-5417(事務局)

地図中心

2022-5 通巻596号

発行 2022年5月10日

発行所 一般財団法人日本地図センター
〒153-8522

東京都目黒区青葉台4-9-6

電話 03-3485-8125

FAX 03-3485-5593

(「地図中心」編集室)

メール chushin@jmc.or.jp

URL https://www.jmc.or.jp

©一般財団法人日本地図センター

定価 880円(税込)

印刷所 昭栄印刷株式会社

地図と学ぶ月刊誌



本誌の一部あるいは全部を無断で複写・複製・転載することは、法律で認められた場合を除き、禁じられています。

第37回



主(一財) 日本地図センター
 催(公財) 国土地理院

地図地理

検定

全検
ZENKINKIKOU
機構



地図大使
石原良純さん

2022年
「地理総合」スタート
私も推薦します!

★CPDポイントが付与されます
 〈基礎〉100点…2割 90点～99点…1割
 〈専門〉博士…5割 準博士…4割 1級…3割
 2級…2割 3級…1割

*「一般」の名称が
「基礎」に変わりました

★団体受検がおすすめ!
 5人以上集まれば、
 いつもの場所受検可能◎

検定実施日 2022年

申込締切:5月下旬 (詳細は下記地図地理検定のHPにアクセス!!)

6月19日 日

【後援】

国土交通省国土地理院 (公社)日本地理学会 日本地図学会
 全国地理教育研究会 全国中学校地理教育研究会 地理教育研究会
 東京都世田谷区教育委員会 札幌市教育委員会 仙台市教育委員会
 名古屋市教育委員会 大阪市教育委員会 福岡市教育委員会

検定の種類

「基礎」と、さらに高度な「専門」の2レベルに挑戦できます!

実施時間 ◇基礎◇ 13:30～14:20 (50分)/20問 (全問択一式 100点満点)
 ◇専門◇ 15:00～16:00 (60分)/24問 (択一式15問・記述式9問 100点満点)

受検の方法

個人受検



募集要項

受検資格: どなたでも受検できます。
 検定会場: 札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡

受検料: 基本受検のほかに、リピーター割引、学生割引、シニア割引、地図倶楽部会員割引があります。

	基礎のみ受検	専門のみ受検	基礎・専門併願受検
基本	3000円	4000円	5000円
各種割引	2000円	3000円	4000円

申込方法

- ・振替払込 (ゆうちょ銀行・郵便局) …… 締切日 2022年6/3
 ⇒このリーフレットにある払込取扱票をご利用ください
- ・郵便 (現金書留) …… 締切日 2022年6/3
- ・インターネット (クレジットカード決済、コンビニ決済) …… 締切日 2022年5/26

「基礎」も「専門」も
 「個人受検」または「団体受検」

のどちらかで受検できます!

団体受検



募集要項

受検資格: 5名以上
 検定会場: 学校、会社等
 受検料: 基礎受検 1500円/人
 専門受検 2500円/人

申込方法

ホームページをご覧ください、お申込みください。ご不明な点はメールでお問合せください。

詳細は… <https://www.jmc.or.jp/keihatsu-kyouiku/chizuken/>

郵送先・その他問合せ先 一般財団法人 日本地図センター 地図地理検定事務局 (文化事業部内)
 〒153-8522 東京都目黒区青葉台 4-9-6
 Tel.03-3485-5417 ◆Fax.03-3485-5593 ◆E-mail:ken2@jmc.or.jp

インターネットによる申込の問合せ先 Tel.03-3233-4808 E-mail:info_kentei@nippan.co.jp
 <日版セグモ機へ業務を委託しております。>

***** 注意事項 *****

- ・お申込後の受検料の返金、内容の変更、次回への繰越などはお受けできません。
- ・お身体の不自由な方は、事前にお問合せください。
- ・未成年の方は保護者の同意の上でお申込ください。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、実施にあたっては全国検定振興機構および各自治体の感染拡大防止ガイドラインに沿った対策を講じます。